

八代生活環境事務組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実施状況について

2024年度（令和6年度）

1. 評価結果の総括

2024年度における八代生活環境事務組合の事務・事業に係る「温室効果ガス総排出量」は、集計の結果、733t-CO₂となり、基準年度である2017年度の排出量1,528t-CO₂と比較して795t-CO₂の削減となりました。削減の主な要因は、令和6年3月31日をもってクリーンセンターが閉鎖したことに伴い、電力使用量及び燃料使用量が減少したためです。

2. 温室効果ガス排出状況

表-1 エネルギー種別「温室効果ガス総排出量」（2024年度）

(単位：t-CO₂)

温室効果ガス	年度	2024年度			2030年度	
	【基準年度】	【実績値】	基準年度との比較		【目標排出量】	【目標削減率】
			増減	削減率		
温室効果ガス総排出量	1,528.0	733.0	-795.0	52.0%	1,131.0	26.0%
電気の使用	1,318.8	597.1	-721.7	54.7%	976.0	26.0%
重油の使用	97.5	0.0	-97.5	100.0%	72.0	26.0%
灯油の使用	94.0	121.7	27.7	-29.4%	70.0	26.0%
ガソリンの使用	12.8	11.9	-0.9	7.1%	9.4	26.0%
軽油の使用	4.0	1.9	-2.1	52.7%	3.0	26.0%
液化石油ガスの使用	0.9	0.4	-0.5	54.1%	0.6	26.0%

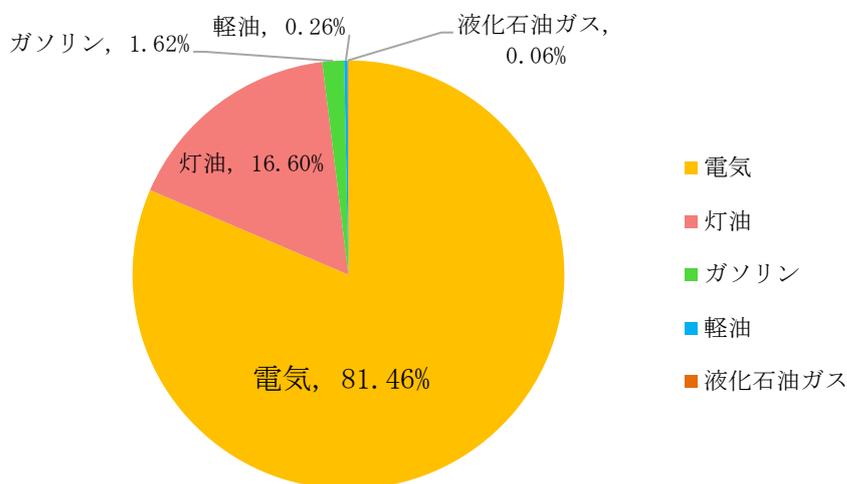


図-1 エネルギー種別「温室効果ガス総排出量」の割合（2024年度）

表-2 施設別「温室効果ガス総排出量」(2024年度)

(単位: t-CO₂)

事業 施設名	年度	2024年度			2030年度	
	【基準年度】	【実績値】	基準年度との比較		【目標排出量】	【目標削減率】
			増減	削減率		
	1,528.0	733.0	-795.0	52.0%	1,131.0	26.0%
クリーンセンター	946.0	184.0	-762.0	80.5%	700.0	26.0%
衛生センター	308.0	269.0	-39.0	12.7%	228.0	26.0%
斎場	96.0	109.0	13.0	-13.5%	71.0	26.0%
椎屋浄水場	59.0	48.0	-11.0	18.6%	44.0	26.0%
その他上水道施設	53.0	44.0	-9.0	17.0%	39.0	26.0%
一般廃棄物最終処分場	39.0	57.0	18.0	-46.2%	29.0	26.0%
庁舎	20.0	15.0	-5.0	25.0%	15.0	26.0%
庁舎(水道)	7.0	7.0	0.0	0.0%	5.0	26.0%

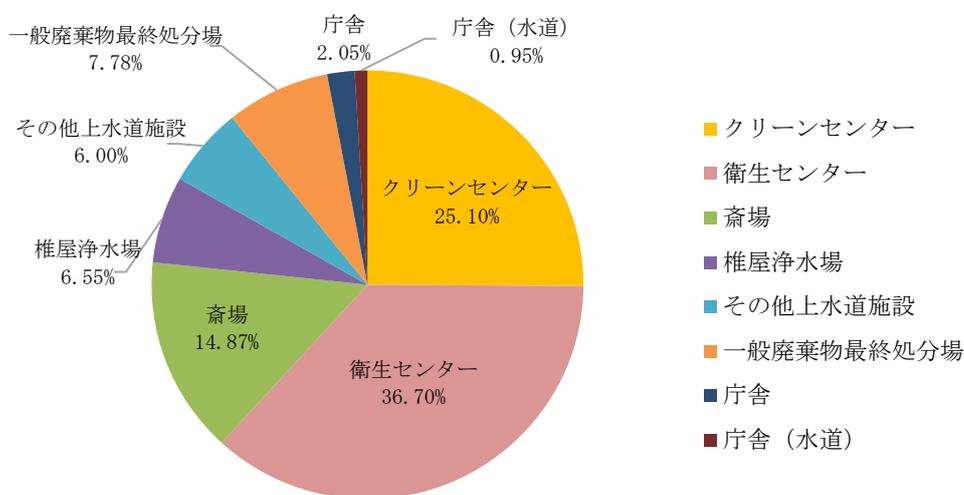


図-2 施設別「温室効果ガス総排出量」の割合(2024年度)

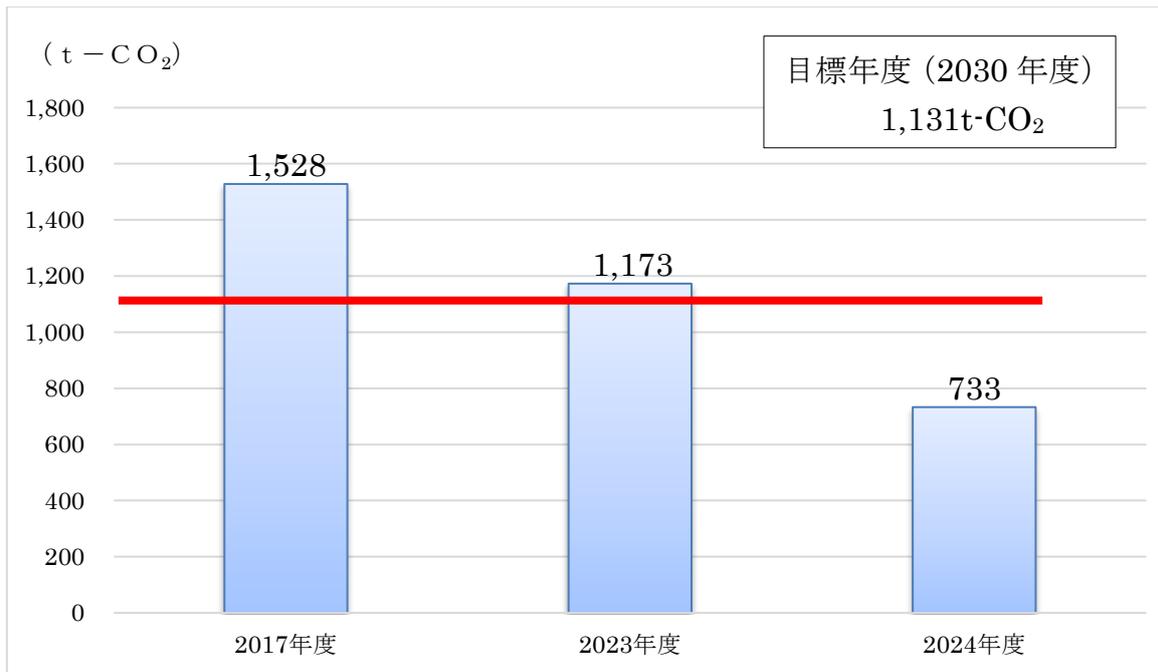


図-3 温室効果ガス削減の進捗状況 (2024年度)

3. 今後の取組

温室効果ガス総排出量のうち、81.46% (2024年度実績) が電力の使用によるものです。近年の異常気象の影響による空調機器の使用頻度の増加に伴い、電力使用量の増加が予想されますが、適正な温度管理や休憩時間の照明消灯等の使用電力削減への取組を継続して行い、より一層の温室効果ガス排出抑制に努めてまいります。